

■昭和大水害記録柱（湯梨浜町）

一幾多の水害を乗り越えて一

東郷湖畔という恵まれた自然環境に建設された水明荘。

しかし、台風の際には東郷湖が増水し、浸水の恐怖と背中合わせです。

地元になきな被害をもたらした台風時の水位を記録した「昭和大水害記録柱」が、水明荘の敷地内にあります。一番高いのが室戸台風時の約2m50cmで、実際に水明荘が受けた被害の中では伊勢湾台風時の1m50cmです。

水害対策として、平成11年の全面改装では、床面を従来より1m高く設置し、地盤沈下に強いくい基礎を用いました。

（「広報ゆりはま」2007年9月号より）



■大正の洪水プレート（鳥取市）



「洪水進入線（大正7年8月14日）」

7m22cm（東京湾中等潮位）

鳥取市役所本庁舎の入り口横のプレート